

技術・家庭科 技術分野 学習指導計画概略

1年

No	累積	時数	ユニット	目標	内容	評価要素	備考	生活や技術への関心・意欲・態度			生活を工夫し創造する能力			生活の技能			生活や技術についての知識・理解			かかわり	
								A	B	評価対象	A	B	評価対象	A	B	評価対象	A	B	評価対象		
1	4	4	ガイダンス	技術が生活の向上に大きな役割を果たしていることを理解することができる。	技術とは	技術＝資格、価値を生み出すもの、そして生きる力		先生の教科の説明を参考にしながら、やろうとする具体的な内容が書ける。	技術の発達と生活様式や職場環境の変化の関係について調べようとしている。	教師の説明の後の感想文の内容											今までの学習の中から関連性を持たせる
2	8	4	製図	キャビネット図、等角図の書き方を練習し、目的にあった図を書くことができる。	完成予想図の書き方(キャビネット図)部品図の書き方(平面図)	図法の基本、定規とペン、線の種類と目的、縮尺、寸法、部品表	A	発展課題まで積極的に挑戦しようとする。	基本課題を達成しようとする。	ボーナス課題の取り組みの様子			キャビネット図、等角図の基本形が3つとも正しく書ける。	キャビネット図、等角図の基本形が2つ書ける。	学習プリント						数学科
3	11	3	設計	設計に関する情報を集め、整理して、ねらいとする製品の条件をまとめることができる。	机引出しづくりの条件を集約する、力のかかる方向と強度、加工しやすい材料選択	使用場所、必要な機能、使い方、かかる重さと力、長さや強さ、厚さと強さ、繊維方向と強さ、材料の性質、材料の種類	A	積極的に自分の力で、各部の寸法を測定できる。	自分の力で、各部の寸法を測定しようとしている。	計測する態度より	自ら構想したものの形を図で表すために工夫し表現しようとしている。	自ら構想したものの形を図で表すために工夫している。	学習プリント	引出しの外寸を予想できる。	使用する材料の名前と特徴をまとめられる。机の中の容積を測定できる。	記録用紙	材料購入の時の点検内容を2ついえる。	製材と合板との違いをまとめられる。木目と強さの関係がまとめられる。	学習プリント	生活体験から	
4	13	2	書き木取り	材料の性質を生かした部品取り作業ができる。	さしがねできどり、のこ引き	さしがねの使い方、木取りの方法、墨書きの方法、のこきりで正しく切断する方法	A	性質を生かした作業をしようとしている。	意欲的に作業に取り組んでいる。	製作品学習プリント	製作品の使用目的にあわせて機能を生かして工夫しようとしている。	製作品の使用目的にあわせて機能を生かして工夫している。	学習プリント	部品番号、余材などの区別がきちんとした墨書きができる。	切り溝を考えた墨書きができる。正しく差し金が見える。	墨書きした部材	節の部分や、われを避ける必要があることがわかる。	切りしろが必要であることがわかる。	学習プリント	知識の具体化	
5	19	6	部品加工	適切に工具を選択し、使い方を工夫しながら、部品加工を行うことができる。	かんながけ、やすりがけ(ベルトサンダ)	かんなの調整の仕方、平削り、こぐち削り、こぼ削り、ベルトサンダのしくみと使い方、安全操作の規準	A	性質を生かした作業をしようとしている。	意欲的に作業に取り組んでいる。	製作品学習プリント	加工の目的や条件に応じて、より適切な工具を選択し、その使い方を工夫している。	加工の目的や条件に応じて、適切な工具を選択し、その使い方を工夫している。	学習プリント	寸法どおり、正しく切断ができる。	材料を固定して安全にのこぎきができる。	授業観察	治具を使うことで正確に切ることができることがわかる。	のこぎりやかんなの特徴がわかる。正しく切断するまでの手順がわかる。	学習プリント	知識の具体化	
6	20	1	仮組み	完成図どおり完成できるか点検する。	仮組立と修正 直定規、ねじ穴決め、下穴あけ	直定規の使い方、きりの種類と誓い方、釘やねじ穴の決め方	A	正確な接合になるまで粘り強く取り組んでいる。	接合面などをできる限り一致させようと努力している。	授業観察			接合部をきちんと整合させることができる。	仮組みができる。下穴のしるしをつけられる。ギリで穴をあけられる。	部材					知識の具体化	
7	24	4	組み立て、仕上げ	接合材料を正しく使い、組立て、仕上げができる。	接着剤とクギ打ち(ねじめ)、目違い払い、面取り、やすりがけ	接着剤のしくみと使い方、げんのうの使い方、釘の直し方、仕上げのしかた、面取り加工の仕方	A	意欲的に点検を行っている。記録をしっかりとしている。	点検作業を意欲的に進めている。	授業観察 学習プリント	材料の特徴を生かして製作品に用いるために自ら工夫している。	材料の特徴を生かして製作品に用いるために工夫している。	学習プリント	面取りができる。段差を直すことができる。	接着剤を使い、くぎで接合ができる。やすりがけができる。	製作物				知識の具体化	
8	25	1	製作のまとめ	製作のまとめをすることができる。	完成品撮影・費用計算、作業記録の整理・自己評価、実際の有効性の判定	完成品のデジカメ撮影、費用計算の意義、自己評価規準、価値観の育成	A	改善点やこれからの努力すべき点を書こうとする。	実習成果をまとめ、自分の学習成果について書こうとする。	まとめプリント			報告書の中に、原価計算や作品分析表がある。	作業記録ファイルを整理し、完成写真をいれた報告書が作成できる。	ファイル					知識・体験の共有化	
14	26	1	レポート作成	これまでの学習をもとに情報を収集し、まとめて資料を印刷できる。	これまでの学習から課題に合う内容を判断して引用し、整形して印刷する。	文書整形、見出し、センタリング、文字修飾の操作、著作表示	D	なるべくわかりやすい図版や説明文を探そうとする。	より良い情報を探そうとする。	感想から			見出しやレイアウトを整えてわかりやすい資料ができる。	画像と文字の情報をワープロに貼り付ける。引用表示を入れる。	プリントアウトした成果	課題に適しているか、わかりやすいかななどの条件に当てはめて判断している。	価値のある情報を選ぶことができる。	プリントアウトしたものにつけた感想文などから	今までの学習の中から関連性を持たせる		
10	28	1	生育基礎	生物の生育について知ろう	動物や植物の生育について知り、生活にどのように関わっているか考える。	動物や植物の生育条件について、生活とのかかわり	C	生活とのかかわりを丁寧に調べようとしている。	生活との関わりを調べようとしている。	学習プリント							生物の生育について知り、適切にまとめられることができる。	生物の生育について知り、まとめようとしている。	学習プリント	今までの学習の中から関連性を持たせる	
11	30	2	植物の生育条件	植物の生育に必要な条件を知ろう	植物の生育に必要な条件を知り、条件を整えることの大切さを知る。	生育条件の選択、栽培計画の作成	C				栽培計画を工夫し、最適化しようとしている。	栽培計画を自分なりに工夫しようとしている。	栽培計画	栽培に必要な条件をあげ、実行できるものに整える。	栽培に必要な条件をあげることができる。	栽培計画				プランニング(設計)	
12	34	2	植物の生育	植物を育ててみよう	種または苗から植物を育て、データを収集する。	適切な環境整備、データの収集	C	水やりなどを欠かさずに行い、細かくデータを収集しようとしている。	水やりなどを行い、データを書き留めている。	生育記録			植物を適切に生育できる。	植物を枯らさずに生育できる。	生育対象 生育記録						
15	35	1	生育のまとめ	生育のまとめ	生育した植物について、データをもとにまとめる。	生育記録 まとめプリント	C	生物の生育について、授業を振り返りながら丁寧にまとめようとしている。	生物の生育について、授業を振り返りながらまとめようとしている。	まとめプリント							データをもとに、適切に栽培できたか判断できる。	データをもとに、適切に栽培できたか判断しようとしている。	生育記録 まとめプリント	今までの学習の中から関連性を持たせる	

技術・家庭科 技術分野 学習指導計画概略

2年

No	累積	時数	ユニット	目標	内容	評価要素	備考	生活や技術への関心・意欲・態度			生活を工夫し創造する能力			生活の技能			生活や技術についての知識・理解			かかわり
								A	B	評価対象	A	B	評価対象	A	B	評価対象	A	B	評価対象	
16	4	4	機械要素の構想、実験	円運動を他の動きに変える方法について理解し、機構実験により確かめる。機構実験をし、実現しようとする動きを構想図にまとめる。	新商品開発ガイダンス、先行作品の閲覧、製作に必要な情報集め	ものづくりの必要性、ものにあらわされるメッセージ、手順、さまざまな観点との出会い、相互比較、価値判断の柔軟化、不足している知識、加工方法、材料などの質問コーナー	B	実現しようとする動きを構想図にまとめている。	実現しようとする動きを構想図にまとめようとしている。	構想シート	構想実験の結果を構想に生かし、図に表している。	構想実験の結果を構想に生かそうとしている。	構想シート	機構実験によって、適切に目的の動きをする機構をつくらることができる。	機構実験によって、目的の動きをする機構をつくらることができる。	機構図	円運動を他の動きに変える方法について理解し、図示できる。	円運動を他の動きに変える方法について理解している。	学習プリント	情報の整理と有効活用、機械の仕組み
17	6	2	リンク部分の設計図の完成	動力伝達的手段や機構について理解し、機構実験により自分が実現しようとする動きをつくり、設計図としてまとめる。部品表、工程表をつくる。	予想機構図の作成、機構実験、目的の動きの最終決定	予想機構の検証と課題解決、実験のまとめ、設計図作成、必要な情報のまとめ	B	目的の動きを達成できるまで繰り返している。	目的の動きを達成できるまで繰り返そうとしている。	学習プリント	自分の実現しようとする動きをより正確に設計に生かしている。	自分の実現しようとする動きをより正確に設計に生かそうとしている。	学習プリント	正しく機構の実験を行い、成果を設計図として正確にまとめることができる。	正しく機構の実験を行い、成果を設計図として正確にまとめることができる。	設計図	てこクラック、揺動クラック機構などの動力伝達の手段について理解し、的確に利用している。	てこクラック、揺動クラック機構などの動力伝達の手段について理解している。	学習プリント	機械の仕組み
18	8	2	実生活の中のエネルギーと種類	エネルギーの種類や利用方法についてまとめる。省エネルギーに関する製品などについて調べ、省エネルギーの方法について理解する。	様々なエネルギーの利用のしかたを知り、どのようなエネルギーが生活に利用されているかをまとめる	エネルギーの種類、有効な利用法	B	積極的に身の回りのエネルギーの種類や利用方法について考え、まとめようとしている。	身の回りのエネルギーの種類や利用方法について考え、まとめようとしている。	学習プリント	エネルギー変換と身近な製品の関係を結びつけようとしている。	エネルギー変換と身近な製品の関係を結びつけようとしている。	学習プリント				エネルギーの利用例を10以上書ける。	エネルギー変換方法や省エネルギーの方法について理解している。	学習プリント	生活知識のまとめ 理科
19	9	1	エネルギー変換部品の特徴	色々な発電方法を知り、その仕組みをまとめることができる。動力、光、熱、電気などのエネルギーの変換方法を調べ、理解する。	発電方法とその特徴、エネルギーの種類と変換方法、家庭での利用機器	発電方法のまとめ、エネルギーの変換のまとめ	B	身の回りのエネルギーの種類や利用方法について考え、適切にまとめている。	身の回りのエネルギーの種類や利用方法について考え、まとめようとしている。	学習プリント			学習プリント	身の回りにおけるエネルギー変換の方法や力の伝達の方法や力の伝達の仕組みを調べ、正確に実験することができる。	身の回りにおけるエネルギー変換の方法や力の伝達の方法や力の伝達の仕組みを調べ、実験することができる。	学習プリント 授業観察	エネルギー変換方法や省エネルギーの方法について理解し、生活に当てはめて考えている。	エネルギー変換方法や省エネルギーの方法について理解している。	学習プリント	生活体験からのフィードバック 理科
20	11	2	エネルギーの発生と実験	太陽電池と蓄電池の役割を知り、その仕組みをまとめる。太陽電池と蓄電池の特性について実験し、まとめる。	太陽電池と蓄電池の特徴・特性	実験の考察、まとめ	B	基礎的な電気回路の仕組みについて考え、適切にまとめている。	基礎的な電気回路の仕組みについて考え、まとめようとしている。	学習プリント				目的にあった回路を組み立てる記録ができ、正しく実験し、結果をまとめている。	目的にあった回路を組み立てる記録ができ、正しく実験することができる。	学習プリント 実験シート	電気部品の特徴、基本的な電気回路の仕組みについて理解し適切にまとめている。	電気部品の特徴、基本的な電気回路の仕組みについて理解している。	学習プリント	電気部品の役割 理科
21	14	3	電気要素の設計、配線と点検	製作を通して、はんだ付けの基本を身に付ける。回路図に従い、太陽電池、スイッチなどの部品を配線し、回路点検と動作試験をして結果をまとめる。	電気部品の設計・配線回路計による点検	電気部品のはんだづけ、回路計での点検方法	B	基礎的な電気回路の仕組みについて考え、適切にまとめている。積極的に工具や機器を正しく安全に活用しようとしている。	基礎的な電気回路の仕組みについて考え、まとめようとしている。工具や機器を正しく安全に活用しようとしている。	授業観察	部品構成を考慮して、適切に配線を工夫している。	部品構成を考慮して、配線を工夫している。	実験シート	目的にあった回路を組み立てる記録ができ、正しく実験し、結果をまとめている。	目的にあった回路を組み立てる記録ができ、正しく実験することができる。	実験シート	電気部品の特徴、基本的な電気回路の仕組みについて理解し適切にまとめている。部品加工や材料に適した加工方法に関する正確な知識を身に付けている。	電気部品の特徴、基本的な電気回路の仕組みについて理解している。部品加工や材料に適した加工方法に関する知識を身に付けている。	学習プリント	電気部品の役割 理科
22	17	3	工具と加工方法及び部品加工	必要な材料をそろえ、加工に関する工具や機器の使い方、注意事項をまとめる。工具や機器を適切に使用し、材料に正確にけがきし、穴あけ、切断などの加工を行う。	基本構成部品の加工	プラスチック材料の性質、穴の書き方、穴あけ注意、オルゴール取付、シャーシ組立、ねじの締め具合	B	積極的に工具や機器を正しく安全に活用しようとしている。	工具や機器を正しく安全に活用しようとしている。	授業観察	加工の目的や条件に応じて、より適切な工具や機器を選択し、使い方を適切に工夫している。	加工の目的や条件に応じて、より適切な工具や機器を選択し、使い方を工夫している。	授業観察	工具を利用し、部品を設計通り正確に加工することができる。	工具を利用し、部品を設計通りに加工することができる。	側板、リンク部品と設計図の照合	部品加工や材料に適した加工方法に関する正確な知識を身に付けている。	部品加工や材料に適した加工方法に関する知識を身に付けている。	学習プリント	製作技術 1年時との関連性
23	20	3	組み立て・調整	作業手順を意識し、製作品を効率よく組み立てる。動力伝達の部品構成が正しく配置されているか確認する。製作品の調整を行う。	機構の仕組みをつくる	クランク、リンクの書きき、切断、端面加工、稼働部、固定部のしくみ、ビス、座金の働き、遊びの理由	B	完成させるため、ねばり強く組み立てて、調整を繰り返す。動きを調整し終えた。	完成させるため、ねばり強く組み立てて、調整を繰り返している。	授業観察	計画的、効率的に組み立てようとしている。	計画的、効率的に組み立てようとしている。	製作品 学習プリント	目的にあわせて、適切な部品を使い、正確に組み立て、調整することができる。	目的にあわせて、適切な部品を使い、組み立て、調整することができる。	製作品	製作の作業手順や組立について理解している。	製作の作業手順や組立について理解している。	学習プリント	各部の微調整
24	21	1	製作品の評価とまとめ	製作品の機能・性能実験を行い、結果をまとめることができる。製作品を自己・相互に評価し、レポートしてまとめる。	製作品の評価	自己評価・相互評価の妥当性	B	積極的に自他の作品を評価し、レポートにまとめようとしている。	自他の作品を評価し、レポートにまとめようとしている。	学習プリント				製作品について性能試験をして正確なデータを得ることができ、まとめられた。	製作品について性能試験をして正確なデータを得ることができる。	学習プリント				自己・相互評価
25	22	1	レポート作成	これまでの学習をもとに情報を収集し、まとめて資料を印刷できる。	wwwの情報から課題に合う内容を判断して引用し、整形して印刷する。	文書整形、見出し、センタリング、文字修飾の操作、著作表示	D	なるべくわかりやすい図版や説明文を探そうとする。	より良い情報を探そうとする。	感想から	見出しやレイアウトを整えてわかりやすい資料ができる。	画像と文字の情報をワープロに貼り付け、引用表示を入れる。	プリントアウトした成果	課題に適しているか、わかりやすいかなどの条件に当てはめて判断している。	価値のある情報を選ぶことができる。	プリントアウトしたものに付けた感想文などから				国語科 社会科
26	23	1	個人情報の流出を防ぐ	個人情報の流出の危険性を知り、web上で注意しなければならないページを判断できる。	個人情報を入力しやすいページを検索し、暗号化処理や、利用規定などについての表示があるか調べ、安全なページの条件をまとめる	価値ある情報の判断、選択する力、まとめる力	D	ブラウザに表示された入力欄について注意深く調べようとする。	ブラウザに表示された入力欄に不用意に入力しないように気をつける。	授業観察				個人情報についてポリシーが書かれているページを検索できる。	入力フォームのあるwebページを検索できる。	学習プリント、 ショートカットファイル	自分の情報だけでなく、他人の情報についても留意することができる。	個人の情報は、自ら守ることを知っている。	学習プリント	社会との関連 社会科
27	25	2	栽培する作物の選択と栽培計画の作成	計画的に栽培を進めるために、環境に応じて栽培する作物を選択できる。	環境に応じた作物を選択し、その作物にあった生育計画を作成する。	環境に応じた作物の選択。栽培計画の作成。	C				作物に応じた栽培計画を工夫できる。	栽培する作物に応じて栽培計画を工夫しようとしている。	栽培計画	目的や環境に適した作物を選択できる。	目的や環境に応じて作物を選択しようとしている。	栽培計画				
27	29	4	用土作りから播種まで	用土作りなどの作業や用具の準備や管理を行う。	用土づくりから播種まで	用土、播種方法の適切な選択	C	作業や用具の管理を意図的に行っている。	用土作りなどの作業を行おうとしている。	授業観察 学習プリント	作業の効率化や安全性を高めようとしている。	作物や環境に応じて用土や播種の方法を工夫しようとしている。	授業観察 生育ノート							
27	33	4	作物の管理	病気や害虫について知り、管理を工夫できる。	除草などの作業。管理の工夫。	適切な管理法、除草や駆除方法。	C	作物の生育過程や増殖状況について調べようとしている。	作物を栽培しようとしている。	生育ノート	作物の管理を工夫し最適な環境を整えることができる。	作物の管理を工夫し環境を整えようとしている。	生育ノート	病気や害虫について理解し、防除に関する知識を身に付けている。	病気や害虫について知ろうとしている。	学習プリント 生育ノート				
28	35	2	収穫とまとめ	収穫し、これまでの栽培のまとめをする。	収穫と生育のまとめ	適切な収穫方法。生活と栽培との関わり。	C							作物として適切に収穫できる。	作物として収穫しようとしている。	収穫された植物 生育ノート	生活と栽培との関わりについて理解し、これからの生活に生かそうとしている。	生活と栽培のかかわりについて知ろうとしている。	学習プリント	生活とのかかわり

技術・家庭科 技術分野 学習指導計画概略

3年

No	累積	時数	ユニット	目標	内容	評価要素	備考	生活や技術への関心・意欲・態度			生活を工夫し創造する能力			生活の技能			生活や技術についての知識・理解			かかわり
								A	B	評価対象	A	B	評価対象	A	B	評価対象	A	B	評価対象	
29	2	2	プレゼンテーションの設計	プレゼンテーション作成ソフトを利用して、集めた情報を設計どおりに構成してまとめることができる。	ソフトに用意した画像、文字、音楽データなどを適切に配置し、成果を確認しながらよりよい表現になるように編集する。	マルチメディアソフトの活用、仮実行と修正、情報の正しい引用	D	設計どおりになるまで作業を進めている。	意欲的に作業に取り組んでいる。	ファイル学習プリント				適切に応用ソフトウェアの操作ができる。	応用ソフトウェアの操作ができる。	ファイル	適切に応用ソフトウェアの操作に関する知識を身に付けている。	応用ソフトウェアの操作に関する知識を身に付けている。	ファイル	構成要素とソフトウェア
30	5	3	プレゼンテーションの作成と修正	プレゼンテーション作成ソフトを利用して、集めた情報を設計どおりに構成してまとめることができる。	ソフトに用意した画像、文字、音楽データなどを適切に配置し、成果を確認しながらよりよい表現になるように編集する。	マルチメディアソフトの活用、仮実行と修正、情報の正しい引用	D	設計どおりになるまで作業を進めている。	意欲的に作業に取り組んでいる。	ファイル学習プリント	応用ソフトウェアを利用して、適切に情報の処理の仕方を工夫している。	応用ソフトウェアを利用して情報の処理の仕方を工夫している。	ファイル学習プリント	構成がまとまっている。	必要な情報は入っている。	ファイル	ソフトの内容を理解し適切な利用ができる。	ソフトの利用ができる。	ファイル	人とコンピュータ
31	6	1	計測・制御の基本	コンピュータを用いて、どんな計測や制御ができるのか知る。	コンピュータを用いて、どんな計測や制御ができるのか知る。	計測や制御の基本	D	生活の中でどのように利用されているか考えている。	コンピュータを動かせるプログラムに関心をもち、その役割とその機能について考えようとしている。	学習プリント							簡単な計測・制御の構成要素に関する知識を身に付けている。		学習プリント	人とコンピュータ
32	10	4	プログラムの基本	コンピュータを用いて、どんな計測や制御ができるのか知る。	簡単なプログラムの作成を通して、コンピュータのはたらきを知る。	簡単なプログラムの作成、プログラミングの基礎	D	意欲的にプログラムを改善しようとしている。	簡単なプログラムの作成に取り組んでみようとしている。	作成したプログラム、学習プリント	課題を解決するために、情報処理の手順を適切に工夫している。	サンプルプログラムを用いて、課題を解決するために、情報処理の手順を適切に工夫しようとしている。	作成したプログラム、学習プリント	ループ等と最適化等、より効率的なプログラムを作成している。	簡単なプログラムを作成ができる。	作成したプログラム、学習プリント	簡単なプログラムの作成に関する知識を身に付け、組み合わせについて理解できている。	簡単なプログラムの作成に関する知識を身に付けている。	提出ファイル、学習プリント	プログラムとコンピュータ数学科
33	15	5	コンピュータによる計測・制御	目的に合った仕事の流れを考えて、プログラムをつくる。	基本プログラムをもとに、簡単なプログラムの編集・作成ができる。	プログラミングの応用	D	課題を達成するための機能に関心をもち、その役割について意欲的に考えている。	課題を達成するための機能に関心をもち、その役割について考えようとしている。	学習プリント、授業観察	課題に対応する情報を適切に使うための方法を工夫し、まとめている。	課題に対応する情報を適切に使うための方法を工夫しようとしている。	学習プリント、授業観察	装置の特徴をつかみ、誤差などの動きの変動を修正している。	基本プログラムをもとに、プログラムの編集・作成ができる。	作成したプログラム	調査データをもとに、効率的に命令を組み合わせている。	調査データに基づいて正しく動作させることができる。	提出ファイル、学習プリント	コンピュータと制御される機械要素
34	16	1	わたしたちの計測と制御	コンピュータを用いることによって、計測・制御がどのように変化してきたか調べ、計測・制御の技術と人や生活とのかかわりについて考える。	コンピュータを用いることによって、計測・制御がどのように変化してきたか調べ、計測・制御の技術と人や生活とのかかわりについて考える。	生活とのかかわりを関連づけられる	D	変化をとらえ、これからの変化を予測しようとしている。	情報手段の発達や情報化の発展が、生活や産業をどのように変えてきたのか考えようとしている。	学習プリント							生活とコンピュータを用いた計測・制御システムとの関係について理解している。	生活とコンピュータを用いた計測・制御システムとの関係について知る。	学習プリント	社会へのかかわり
35	17	1	ものづくりと社会について	ものづくりと社会の経済とのつながりについてまとめることができる。	技術の社会的な貢献度について	職探しから仕事づくりへ、創造する力が人間の進化の源	D	積極的に参加しようとしている。	資料をよく読もうとしている。	授業観察	適切に学習内容を生活に結びつけることができる。	学習内容を生活に結びつけようとしている。	学習プリント				まとめが十分考えられている。	つながりをまとめることができる。	学習プリント	実生活への応用社会科

技術・家庭科(技術分野)教育課程

授業時間数	技・家	分野別
1年	70	35
2年	70	35
3年	35	17.5
全体	175	87.5

	全時間数/4	ガイダンス	授業時数
A	21.875	0.875	21
B	21.875	0.875	21
C	21.875	0.875	21
D	21.875	1.375	20.5
	87.5	4	83.5

4項目を均等に扱うので、時間数は1/4となり、それぞれ21.875時間となる。

	A	B	C	D	ガイダンス
1年		21		9	1
2年			21	12	2
3年					17.5